

令和2年度マイワシ漁場探索調査結果（令和3年1月22日）

2021年1月22日に県漁業調査指導船「みやしお」により、マイワシ漁場探索調査を行いました。金華山沖から北側に向けて大須崎沖まで計量魚探によりマイワシの反応を探ったところ、出島沖～雄勝沖（N38° 25' ～N38° 30' ， E141° 39' ～E141° 40' ， 水深130～150 m）でマイワシと思われる非常に濃い反応がありました。よい反応があった調査点でサビキ釣りを行ったところ、マイワシは釣れませんでした。22～34 cmのマサバ、19 cmのスルメイカが釣獲されました。

表1 サビキ釣獲試験調査点

調査点	日時		位置		水深	表面水温	備考
St.1	1月22日	10:15 ～ 10:35	N38° 21.60	E141° 39.10	133m	10.4℃	マイワシの反応は薄い
St.2	1月22日	11:10 ～ 11:30	N38° 25.09	E141° 40.41	140m	10.4℃	マイワシの非常に濃い反応
St.3	1月22日	11:50 ～ 12:10	N38° 26.41	E141° 39.03	132m	10.6℃	マイワシの非常に濃い反応
St.4	1月22日	13:20 ～ 13:40	N38° 32.59	E141° 39.05	135m	10.6℃	鳥山が見えたがマイワシの反応は薄い

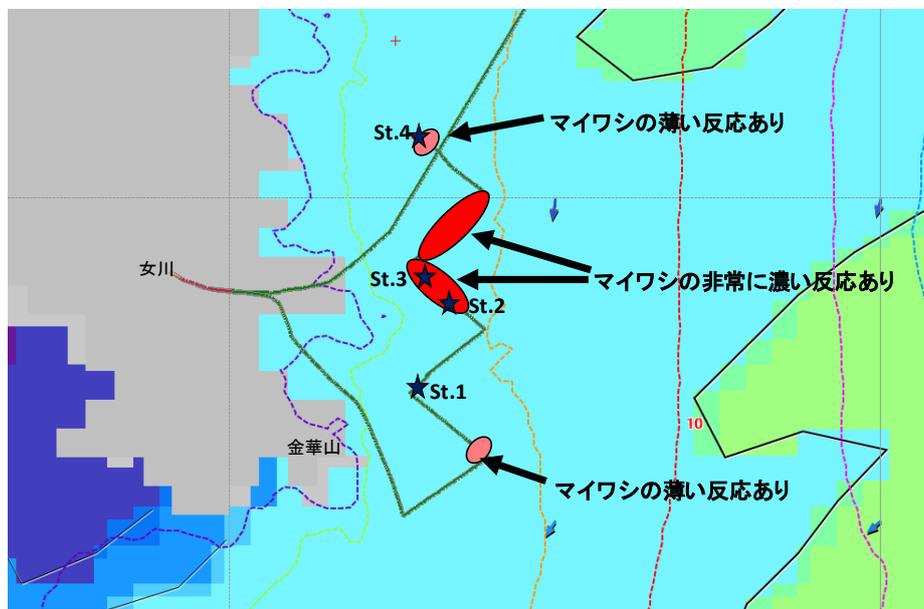


図1 マイワシ漁場探索調査海域図（漁業情報サービスセンター：エビスくんの画像）

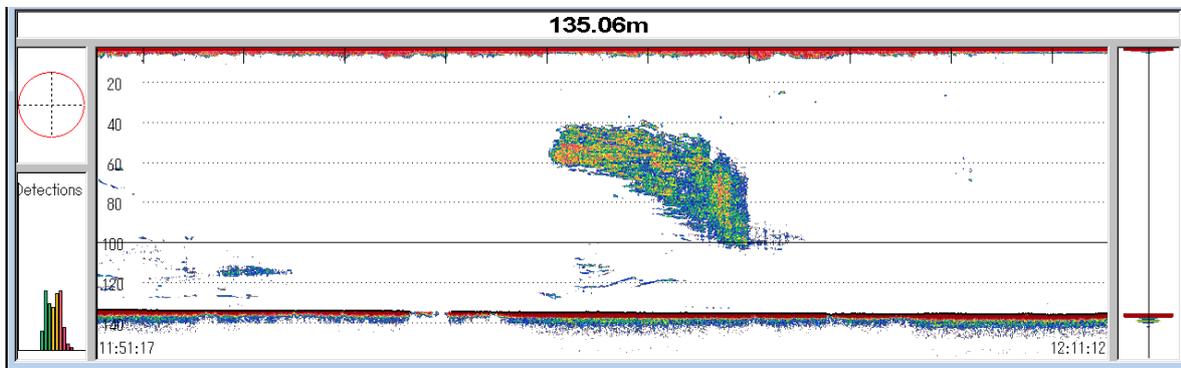


図 2 St.3 における計量魚探の画像。水深 40~100m 付近にマイワシの非常に濃い反応 (St.3, $N38^{\circ} 26'$, $E141^{\circ} 39'$, 水深 135m) が形成されていた。

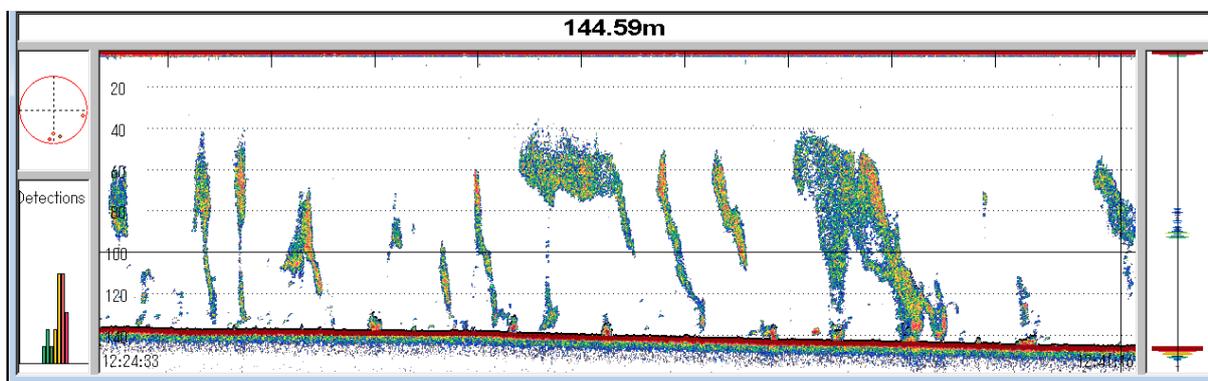


図 3 計量魚探の画像。出島沖~大須崎沖 ($N38^{\circ} 25' \sim N38^{\circ} 30'$, $E141^{\circ} 39' \sim E141^{\circ} 40'$, 水深 130m~145m) で断続的にマイワシの非常に濃い反応が形成されていた。